



*Boundless Capability of Drug Discovery from the Ground*

# 株式会社ジーンテクノサイエンス

2014年3月期 決算説明会

2014年5月16日

**MOthers** 証券コード: 4584

# 業績ハイライト

## ◆ 2014年3月期 通期業績

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
3/4発表予想(A)	299	△596	△601	△604	△279.57
実績(B)	301	△512	△516	△519	△240.15
増減額(B-A)	2	83	85	85	

- ①G-CSFの売上は計画どおり  
②役務収益を追加計上！

3月に予定していた開発費の  
一部が4月の費用計上に  
↓  
開発はほぼ計画どおり進捗

# 事業ハイライト(1)

## 成果1

### 開発資金と新規ネットワークの獲得

- ①  ウィズ・パートナーズの経営参画
- ②  伊藤忠ケミカルフロンティア との資本業務提携



- ・総額30億円の資金調達により、バイオ後続品開発が加速
- ・両社のネットワークにより、アライアンス候補先情報が飛躍的に増加

## 成果2

### 基幹パイプラインの顕著な前進

- ① G-CSFが日本で最初のバイオ後続品として2013年5月に上市  
→  富士製薬工業及び  持田製薬により各医療機関へ
- ② PEG-G-CSFの製造プロセスの確立に向けて  
→ G-CSFの上市を受け、次世代型G-CSF(PEG-G-CSF)の開発に本格的に着手  
バイオシミラーとしてのプロセス開発にめどをつけ、海外展開を視野に活動

# 事業ハイライト(2)

## 成果3

### 製薬企業とのアライアンスを実現



三和化学研究所とダルベポエチンアルファのバイオ後続品の共同開発を開始



最終的に販売を担当する製薬企業とのアライアンス(開発の出口を確保)

## 成果4

### 人材・基盤技術の強化

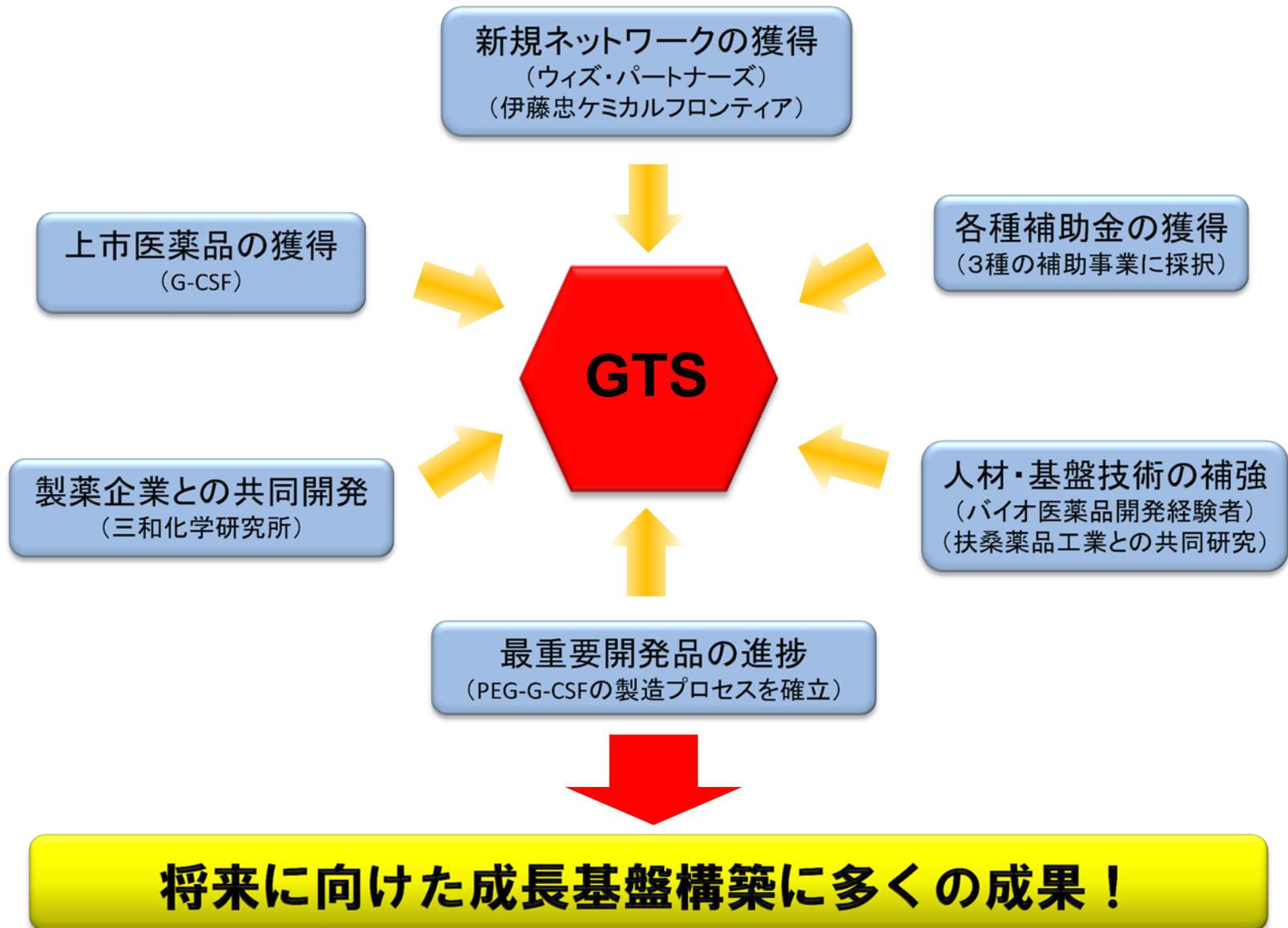
- ①次世代抗体医薬品の研究開発を開始
- ②扶桑薬品工業と高産生細胞株樹立に向けた共同研究を開始
- ③バイオ医薬品の開発において多様なバックグラウンドを有する経験者を採用

## 成果5

### 各種補助金の獲得

3種の補助事業に採択され、コストをかけずに基盤技術等の研究開発が可能に

# 事業ハイライト(まとめ)



# 2015年3月期業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2014年3月期実績(A)	301	△512	△516	△519	△240.15
2015年3月期予想(B)	310	△970	△946	△948	△397.97
増減額(B-A)	9	△458	△430	△429	

G-CSFの受注確定分のみ  
ボトムラインの売上として計上  
↓  
ただし、+αの材料は仕込み中  
↓  
アップサイドを積極的に追求！

バイオ後続品2～3品目で  
臨床試験入りを目指すことから  
開発費はピークに  
↓  
付加価値を飛躍的に高め、同時に  
製薬企業への導出を目指す！

売上拡大戦略として明確化！

# 今年度 事業推進のための重点施策

## G-CSF 関連 (PEG-G-CSF)



- ✓ 海外での開発とアライアンス活動
- ✓ G-CSFの価値の最大化(PEG-G-CSF)

## 新規バイオ後続品



- ✓ 共同開発テーマの順調な開発推進
- ✓ 国内外の製薬企業との提携を可能とするための新規バイオ後続品の開発推進

## ヘルスケア関連



- ✓ 中国におけるヘルスケア関連市場調査
- ✓ 日本品質での製品開発と提案

# 売上拡大に向けてのステップ・・・現在

The diagram consists of a blue rectangular base at the bottom. Inside this base, the text '安定収益 (G-CSFの受注確定分)' is centered. To the right of the base, a solid black arrow points upwards. To the right of the arrow, the text 'ボトムラインの業績' is positioned. Above the blue base, a large dashed-line box contains the text '事業推進のための重点施策'. A dashed-line arrow points upwards from the top of the blue base to the top of the dashed-line box.

事業推進のための重点施策

安定収益  
(G-CSFの受注確定分)

ボトムラインの業績

# 売上拡大に向けてのステップ①

アップサイドの材料



確定次第、  
業績の上方修正を行う



①

G-CSFの海外導出による収益最大化  
PEG-G-CSFの開発とアライアンス

安定収益  
(G-CSFの受注確定分)

ボトムラインの業績

# G-CSFの海外導出による収益最大化

G-CSF  
(がん)

申請データ  
の利用

製薬企業に導出

原薬または  
製剤供給

承認  
実績

**GTS**

対価として  
契約金収入獲得！



欧米市場  
(市場規模:約1,000億円)

G-CSF国内市場  
約200億円

原薬または  
製剤供給

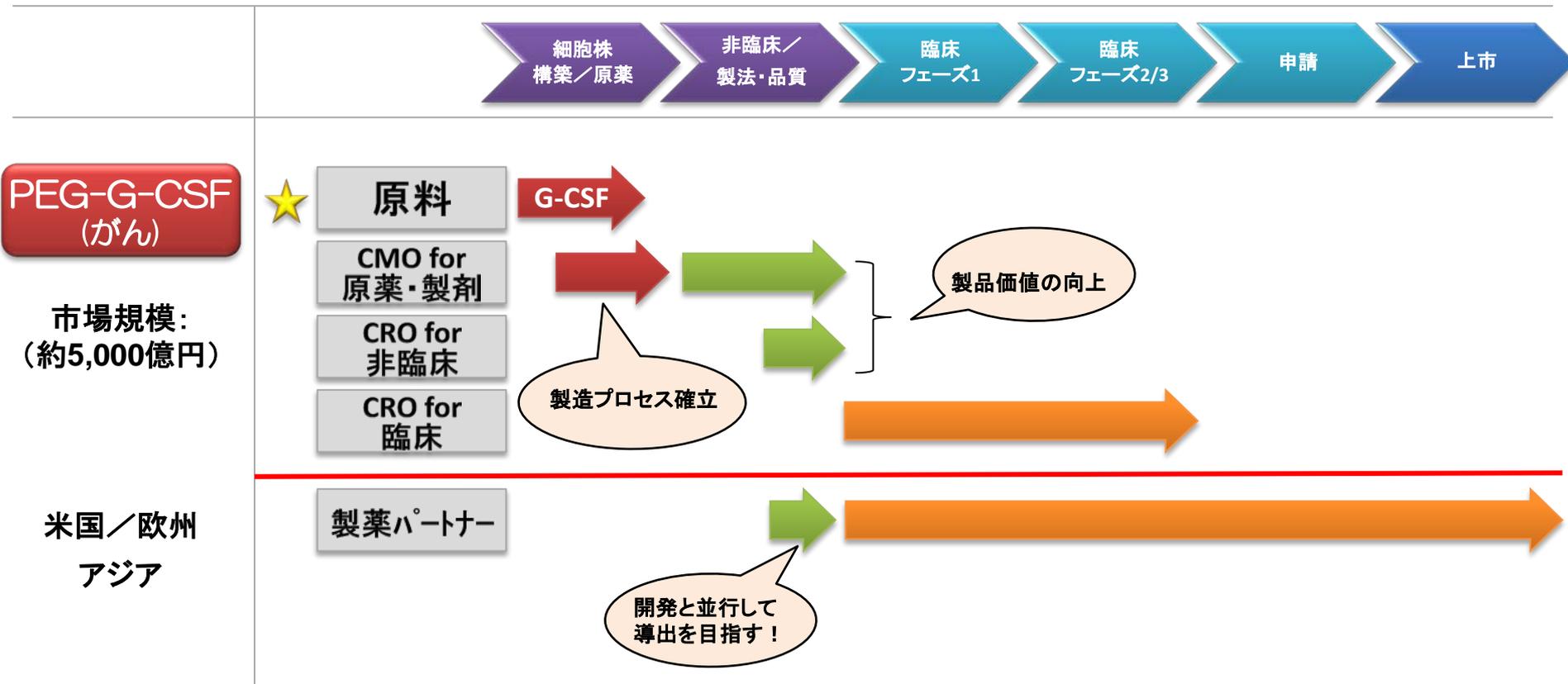
申請データ  
の利用

製薬企業に導出



アジア市場

# G-CSFのバリューアップとアライアンス活動



★確保

➡前年度までの実績

➡2014年度進捗

➡2015年度以降の予定

# 売上拡大に向けてのステップ②

アップサイドの材料



確定次第、  
業績の上方修正を行う



ボトムラインの業績

# 新規バイオ後続品におけるバリューチェーンの構築

ダルベポエチン  
アルファ  
(腎性貧血)

市場規模:  
(約600億円)



東亜ST

開発ライセンス  
の付与



三和化学研究所

共同開発

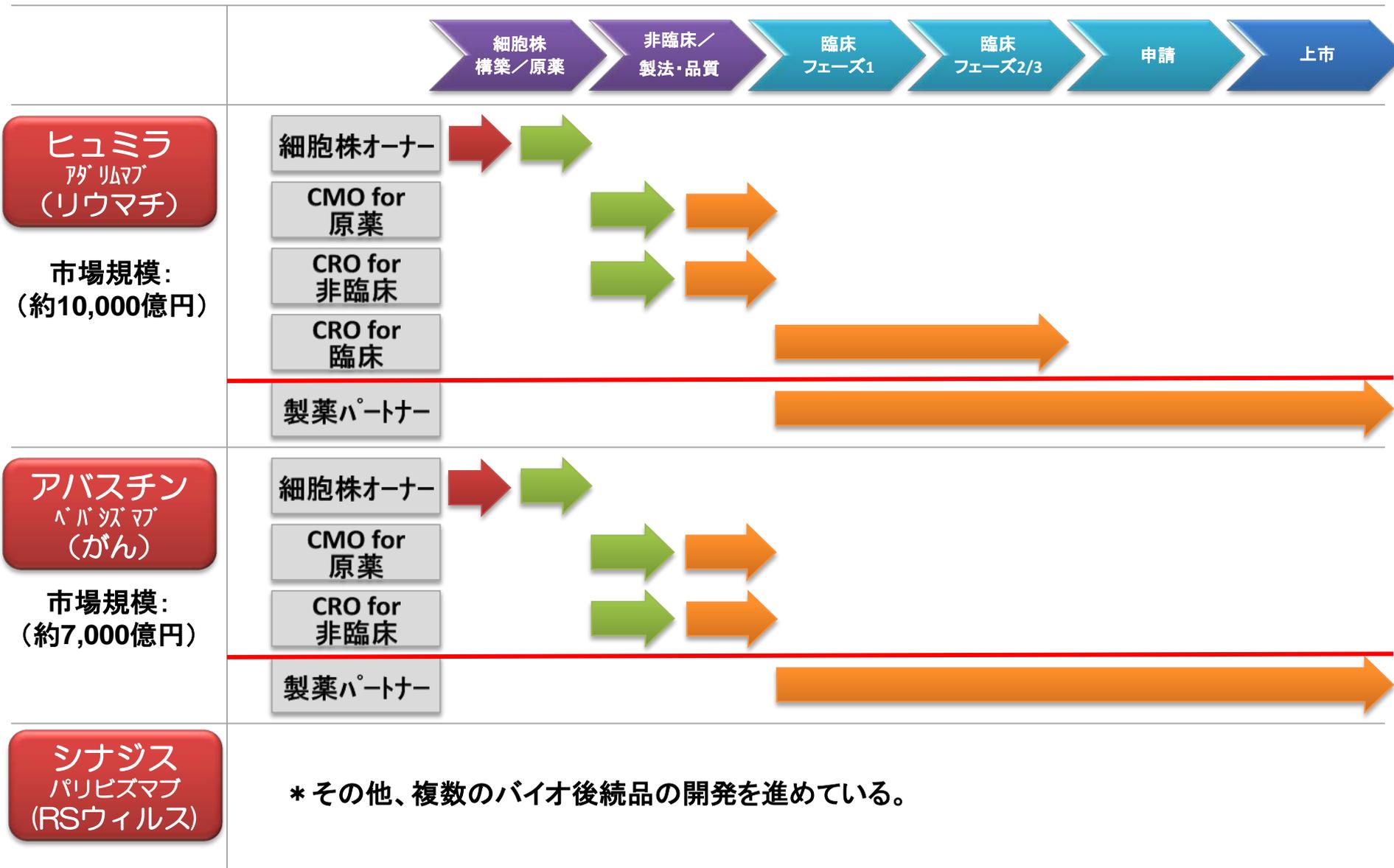
開発ノウハウの提供

製法・品質のチェック



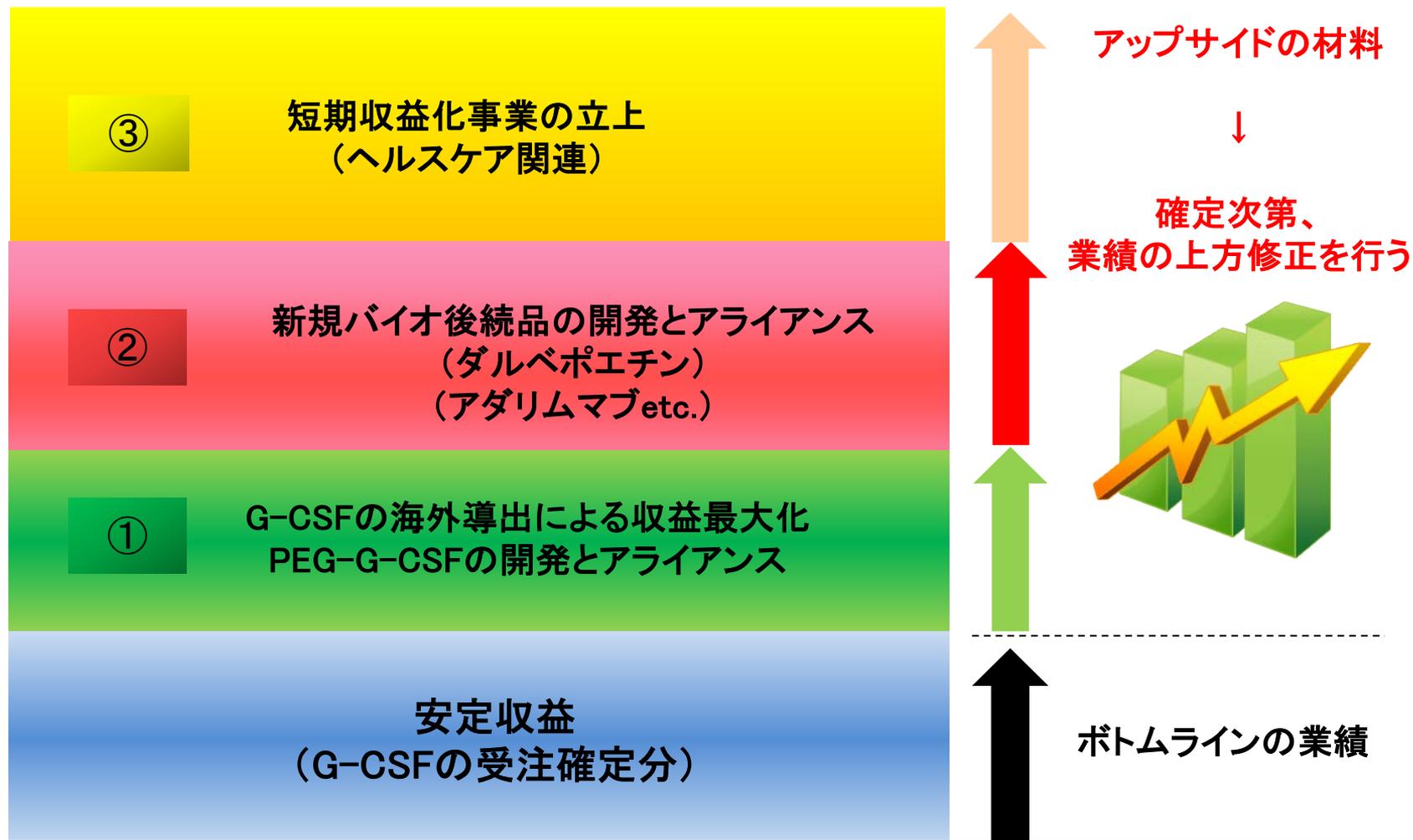
販売を担当する製薬企業との共同開発提携により  
リスクの分散と将来収益の確保！  
(バリューチェーンの完成)

# 新規アライアンスに向けての仕込み

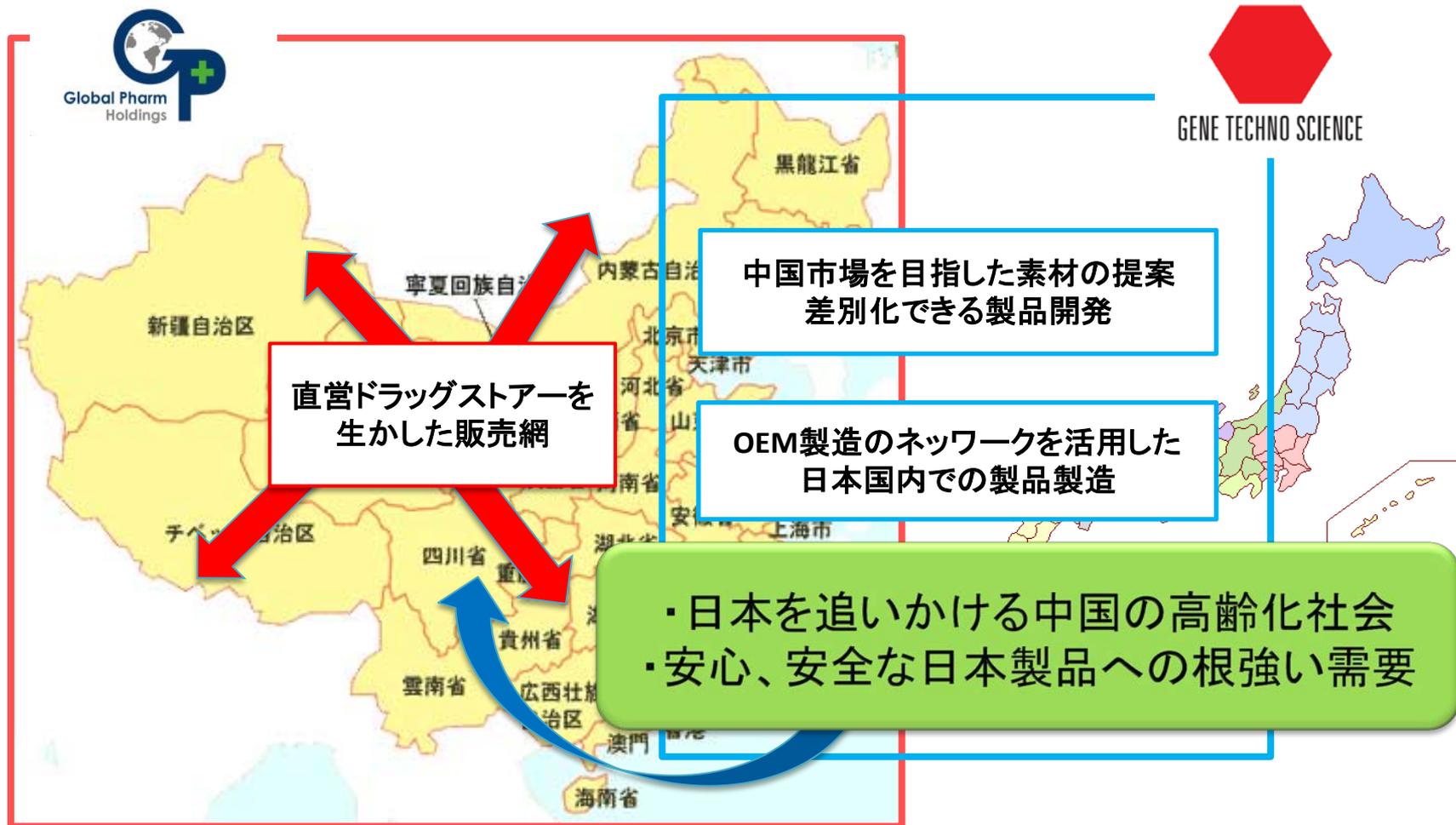


➡ 前年度までの実績    
 ➡ 2014年度進捗    
 ➡ 2015年度以降の予定

# 売上拡大に向けてのステップ③



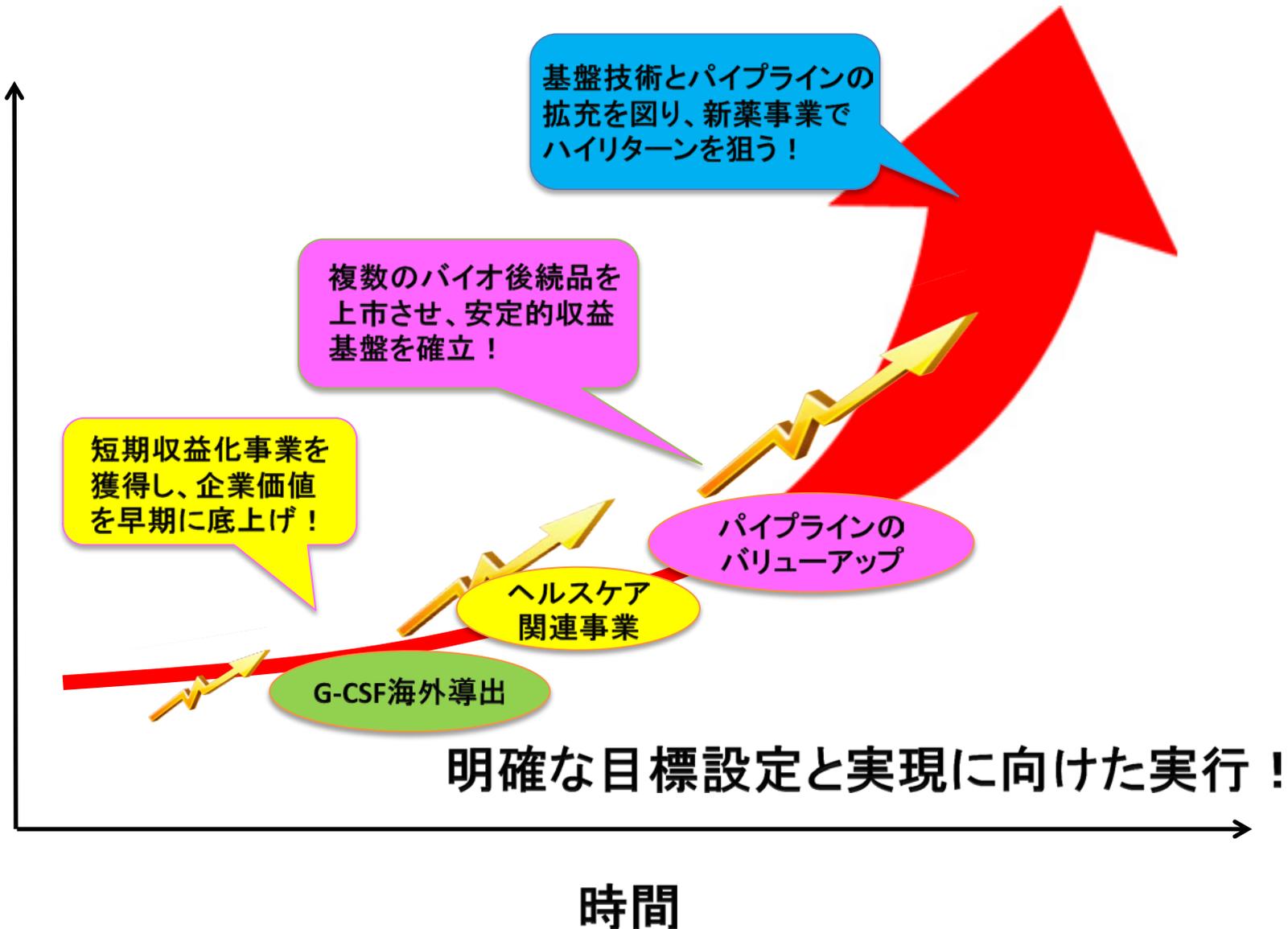
# 短期収益化事業(ヘルスケア関連)の立上



・市場の成長性やリスクを見極めながら、早期の事業化へ！

# 企業価値向上に向けてのイメージ

企業  
価値



 **ご注意事項**

本資料は投資家の参考に資するため、株式会社ジーンテクノサイエンス(以下、弊社)の現状を理解していただくため作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点で一般に認識されている経済・社会の情勢及び弊社が合理的と判断した前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

 **お問い合わせ先**

管理部

TEL 011-876-9571

**ゼロからはじまる、無限の創薬力**